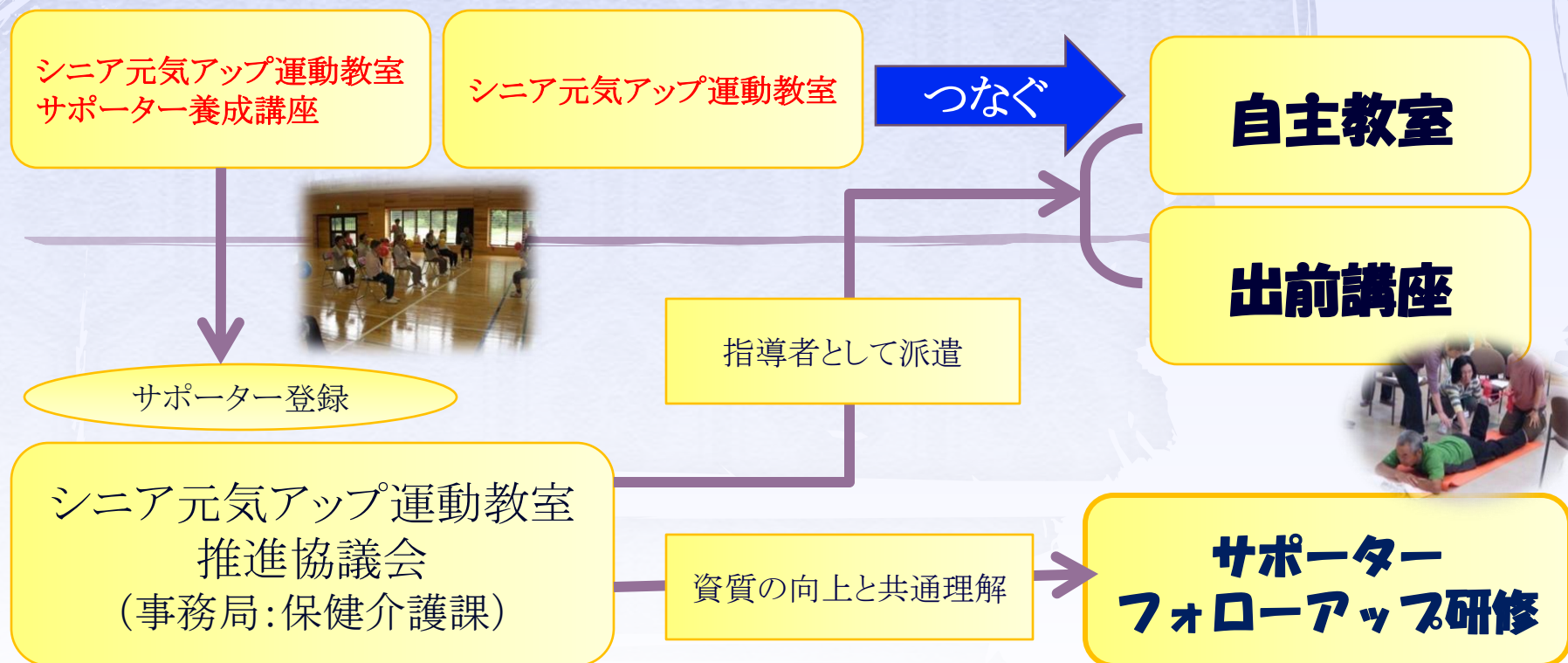




国富町シニア元気アップ運動教室（国富町）

●「国富町シニア元気アップ運動教室サポーター養成講座」を受講して、サポーターとして登録、推進協議会を活動拠点に、地域で開催される自主教室の指導者として活動中。また、フォローアップ研修へも積極的に参加。

●介護予防事業として「国富町シニア元気アップ運動教室」に参加を促し、転倒予防運動等を習得する。教室終了後は、地域で開催される自主教室へつないでいる。





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	国富町
②人口（※１）	２０，８０５人（平成２５年３月３１日現在 住基）（ ）
③高齢化率（※１） （６５歳以上、７５歳以上それぞれについて記載）	６５歳以上 ５，９４３人 ２８．６％（ ） ７５歳以上 ３，３２１人 １６．０％
④取組の概要	介護保険の対象となるおそれのある高齢者が、「シニア元気アップ運動教室」に一定期間（３～４か月間）参加して、転倒予防運動等を習得する。この教室は健康運動指導士等が指導して、教室終了後は地域で開催される「シニア元気アップ運動教室自主教室」への参加を促していく。自主教室は「シニア元気アップ運動教室サポーター養成講座」修了者で、サポーターとして認定された者が指導者となっている。
⑤取組の特徴	・介護予防の知識や技術を習得したサポーターを養成、「国富町シニア元気アップ運動教室推進協議会」を発足、「フォローアップ研修」で資質の向上を図る。 ・運動教室への参加者は、地域包括支援センターや関係者等が、各種のネットワークから情報収集して、訪問等で紹介、教室への参加を促している。 ・自主教室はサポーターが指導者で、有償ボランティアである。
⑥開始年度	平成２４年度
⑦取組のこれまでの経緯	・平成２４年６月開講と１０月開講で、合計３８人が「シニア元気アップ運動教室」を受講、終了後は自主教室に参加している。 ・平成２４年度、第１期生として、２４人が「サポーター養成講座」を終了、現在、１３人が自主教室や出前講座等でサポーターとして活動中である。 ・平成２４年度は自主教室が３ヶ所たちあがり、地域の高齢者の集いの場「ふれあいいきいきサロン」１３箇所にて出前講座を開催
⑧主な利用者と人数	平成２４年度「シニア元気アップ運動教室」利用者 実人数５６人 平成２４年度「シニア元気アップ運動教室サポーター養成講座」受講者２７人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	実施主体：国富町 関連する団体・組織：地域包括支援センター
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	２４年度予算 ２，３２２千円
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	地域支え合い体制づくり事業 補助金 ５０３，０００円
⑫取組の課題	国富町シニア元気アップ運動教室推進協議会の自主的な活動への発展
⑬今後の取組予定	平成２５年度サポーター２期生の養成（１５名）６月～９月 自主教室等、地域での定期的な教室開催を推進していく。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	国富町役場保健介護課介護係 Tel ７５－９４２３ fax ７５－９４００



- ※ 1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※ 2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※ 3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





地域包括支援センターを中核にネットワーク体制（国富町）

- ・高齢者に対する支援方法について、介護保険サービスのみならず、生活支援サービスを含めて、地域包括支援センターを中核にネットワークにより具体的な検討や解決がなされる体制の構築
- ・地域の様々な関係機関との連携機能強化

主催

- ・地域包括連携会議（H24年度まで地域ケア担当者会議月2回）
- ・介護保険事業所連絡会議（年3回）
- ・認知症支援ネットワーク（徘徊搜索訓練の実施、全体会の実施）

- ①配食サービス・外出支援サービス利用の検討
- ②困難事例の検討
- ③その他、随時情報提供

支援

- ・通所サービス連絡会
- ・ケアマネジャー連絡会

参加

- ・認知症対応型共同生活介護連絡協議会
- ・小規模多機能型居宅介護施設連絡協議会



国富町ケアマネジャー連絡会

